



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ加盟各社 御中

2026 年 9 月 11 日

岡 山 大 学

小児がんの子どもたちとご家族を、B リーグ開幕戦にご招待！ ～岡山大学病院×トライフープ岡山「小児がんサポートデー」～

◆発表のポイント

- ・岡山大学病院とトライフープ岡山※1) は、小児がん※2) の啓発と支援を目的としたタイアップ企画「小児がん支援イベント」を共同で展開しています。
- ・その第3弾として、2026年9月26日（土）にシゲトーアリーナ岡山で行われるBリーグ2026-27シーズン開幕節を「小児がんサポートデー」として開催します。
- ・小児がんの患者さんにご家族、診療に携わる医療関係者を試合にご招待するほか、ゴールドリボンの啓発ブースや募金活動を行い、会場全体で子どもたちを応援します。

岡山大学病院（岡山市北区鹿田町、病院長：前田嘉信）とプロバスケットボールクラブ・トライフープ岡山は、小児がんの子どもたちとご家族を応援するタイアップ企画「小児がん支援イベント」を共同で実施しています。その第3弾として、2026年9月26日（土）にシゲトーアリーナ岡山（岡山県総合グラウンド体育館）で開催されるBリーグ2026-27シーズン開幕節を「小児がんサポートデー」とし、小児がんの患者さんとそのご家族、診療に携わる医療関係者を試合にご招待します。

本企画は、小児がんへの理解と支援を呼びかける国際的な啓発運動「ゴールドリボン運動」※3) の趣旨に賛同して実施するものです。第1弾として8月12日に選手が小児病棟を訪問して入院中の子どもたちと交流し、第2弾として8月29日には院内でVR観戦イベントを実施しました。

開幕節では、子どもたちやご家族に「アリーナでみんなと一緒に応援する」体験を届けるとともに、来場者に向けた啓発ブースや募金活動を通じて、会場全体で小児がんの子どもたちを応援します。両者は本企画を通じて、小児がんに対する社会の理解を広げ、地域全体で子どもたちとご家族を支える環境づくりを進めます。

◆岡山大学病院からのひとこと

トライフープ岡山さんのサポートでこのような会が企画でき、うれしく思います。参加される皆さんには、まずはこの一日を思いきり楽しんでいただきたい、というのが私たちの一番の願いです。そして会場に集まる皆さんにも、小児がんという病気と、治療を終えた子どもたちの生活について知っていただくきっかけになればうれしいです。これからも、岡山大学病院は小児がん患者さんを取り巻く環境の改善に全力を尽くします。



石田助教

学術研究院医療開発領域（岡山大学病院：小児血液・腫瘍科）助教 石田悠志

小児がんと向き合い、治療を頑張る子どもたちがいることを、多くの皆さんに知っていただけたらうれしいです。治療中の子どもたちが安心して過ごせる環境を整え、子どもたちがワクワクするイベントをこれからも続けていきたいです。このような素敵な機会をいただき、ありがとうございます。



小児科病棟保育士
遠藤・小西・川口

◆トライフープ岡山・笠井康平選手からのひとこと

8月に病院を訪問させていただきましたが、逆に子どもたちから元気をもらえました。先日もVRで練習試合を観戦してもらい、病院から声援を送ってくれたと聞いています。少しでも子どもたちやご家族の力になっていけるよう、これからも活動を続けてまいります。9月26日（土）は会場でもご声援よろしくお願いします！

トライフープ岡山 #13笠井 康平

■発表内容

<背景>

小児がんは、小児期に発症する悪性腫瘍の総称です。治療成績は年々向上している一方で、治療が長期にわたることが多く、入院中の子どもたちは学校生活や友人との交流、季節の行事といった「子どもらしい時間」が制限されやすいという課題があります。

小児がんの子どもたちとご家族を支援するシンボルが「ゴールドリボン」であり、毎年9月は小児がん啓発月間として、世界各地で理解の促進と支援を呼びかける活動が行われています。岡山大学病院とトライフープ岡山は、この趣旨に賛同し、2026-27シーズンの開幕に合わせて3つの応援企画を共同で実施することとしました。

<第1弾：選手による病棟訪問イベント（2026年8月12日・実施済）>

8月12日、トライフープ岡山の笠井康平選手（PG）、ソウ シェリフ選手（C/PF）、フォファナ ママドウ選手（SF）、横川俊樹選手（PG）の4人が岡山大学病院を訪問し、入院棟11階のスカイラウンジで小児病棟の患者さんやご家族約20人と交流しました。

自己紹介に続く質問タイムでは「好きな食べ物は？」、「体調やコンディション維持の秘訣は？」など多くの質問が寄せられ、選手たちが一つひとつ丁寧に答えました。ミニバスケット体験では参加者がミニゴールへのシュートに挑戦し、シュートが決まるたびに選手から歓声が上がりました。応援うちわ作りでは、選手と参加者が一緒に手形を取り、それぞれがオリジナルの応援うちわを完成させました。最後はサインや記念撮影、ハイタッチなどのふれあいを通じて、和やかな交流の時間となりました。



PRESS RELEASE



第1弾：選手による病棟訪問イベント（岡山大学病院 入院棟 11階スカイラウンジ）

<第2弾：VR観戦イベント（2026年8月29日・実施済）>

会場に足を運ぶことが難しい子どもたちにも試合の臨場感を届けるため、VRゴーグルを用いた院内観戦イベントを実施しました。コート最前列からの視点で試合映像を体感でき、ベッドサイドからでも会場にいるような観戦を楽しむことができました。

※本イベントは、岡山大学学術研究院医歯薬学域 医療情報化診療支援技術開発講座 長谷井嬢教授（特任）のサポートで行われました。



<第3弾：開幕節「小児がんサポートデー」の概要>

日 時：2026年9月26日（土）14時05分試合開始

会 場：シゲトーアリーナ岡山（岡山県総合グラウンド体育館／岡山市北区いずみ町 2-1-3）

対戦カード：トライフープ岡山 対 越谷アルファーズ（Bリーグ2026-27シーズン開幕節）

招 待 対 象：岡山大学病院で治療を受けている（または治療歴のある）小児がんの患者さんとそのご家族、診療に携わる医療関係者

会場での主な取り組み（予定）：

- ・ ゴールドリボン運動の啓発ブースの設置
- ・ 小児がんの子どもたちを支援する募金活動
- ・ 子どもたちによる選手の似顔絵の掲出 ほか



<今後の展望>

岡山大学病院とトライフープ岡山は、小児がんの子どもたちとご家族が「地域に支えられている」と実感できる機会を継続的につくっていきたいと考えています。2026-27 シーズンを通じた取り組みへの発展も視野に、医療とスポーツが連携した新しい支援のかたちを岡山から発信していきます。



PRESS RELEASE

【関連リンク】

- ・岡山大学病院「トライフープ岡山の選手と小児病棟の患者さんとの交流会を開催しました」(2026年8月17日) <https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/news/detail859.html>
- ・トライフープ岡山 公式サイト <https://tryhoop.com/>

■補足・用語説明

※1) トライフープ岡山：岡山市を拠点とするプロバスケットボールクラブ。2026-27 シーズンはB.ONE リーグリーグに参戦し、シゲトアアリーナ岡山（岡山県総合グラウンド体育館）などをホームアリーナとして活動しています。

※2) 小児がん：小児期に発症する悪性腫瘍の総称で、白血病、脳腫瘍、リンパ腫、神経芽腫などが含まれます。成人のがんとは発生する種類や治療の考え方が異なり、小児科と各診療科が連携した専門的な診療が必要となります。

※3) ゴールドリボン運動：ゴールドリボンは、小児がんの子どもたちとご家族を支援する国際的なシンボルです。毎年9月は小児がん啓発月間とされ、世界各地で小児がんへの理解の促進と支援を呼びかける活動が行われています。

＜本件に関するお問い合わせ＞

【イベント全般・取材について】

岡山大学病院 小児血液・腫瘍科 担当：石田 悠志

（電話番号）086-235-7249（平日10:00-16:00）

【広報に関すること】岡山大学医療系事務部 総務企画課 広報担当

（電話番号）086-235-6749 （メール）shikata-koho@adm.okayama-u.ac.jp

【トライフープ岡山に関すること】トライフープ岡山 広報担当：平野 由稀

（電話番号）080-9455-0134



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

